

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
介護概論	田中 武士	講義	2		2	1, 2, 4	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	みなさんは「介護」という言葉にどのようなイメージを抱くでしょうか。介護を要する状態とはどのような状態なのか、疑似体験なども取り入れながら考えていきます。また、介護の言葉の意味を広く捉え、人間の尊厳とは何かについても考えたいと思います。そして、介護をめぐる制度や政策、ケアの概念にも関心を向け、介護を要する人々の生活における「自立」の意義や「介護保障」のあり方について検討します。講義資料の他に新聞記事や映像なども用いて、高齢者や子ども、障がいのある人などの分野を横断して学習を進めていきます。						
到達目標	①現代における介護をめぐる諸問題および社会的背景について理解できる。 ②介護関連の制度や政策を検討し、それに対する自らの意見を表明することができる。 ③介護保障のあり方について、論理的に考えることができる。						
回	学習内容						
1	オリエンテーション（授業内容の予定と評価の方法）						
2	介護とは何か（生活から考える）						
3	介護とは何か（概念から考える）						
4	ケアをめぐる現状と課題（8050 問題）						
5	ケアをめぐる現状と課題（ヤングケアラー）						
6	介護体験（高齢者体験）						
7	介護体験（福祉用具など）						
8	ケアの現場から考える（人生の最終段階における医療・ケア）						
9	ケアの現場から考える（緩和ケア）						
10	ケアにおける倫理（臨床倫理とは何か）						
11	ケアにおける倫理（四分法）						
12	「地域包括ケアシステム」とは何か						
13	「地域共生社会」とは何か						
14	「介護保障」とは何か						
15	試験および試験終了後に「ケア」とは何か						
予習内容 復習内容	予習：授業計画を参考に、日頃から新聞記事等に目を通し社会の状況に触れておく。 復習：授業を通じて生まれた自らの気づきや問いについて、文献等を用いて深めるよう努める。						
教科書	・指定のテキストは使用しません。適宜レジュメと資料を配布します。 ・参考文献：広井良典編（2013）『ケアとは何だろうかー領域の壁を越えて』ミネルヴァ書房。他にも授業中に紹介します。						
成績評価	・小レポート 30%（毎授業後）、試験 70%で総合的に評価します。 ・公欠以外で授業を 6 回以上欠席した場合、試験の受験資格を失います。						
実務経験							
その他 特記事項	・授業は受講者と意見交換をしながら進めるため、主体的な態度での参加を求めます。 ・授業を妨げる言動は厳禁です。						